



無限広報 vol.2

考えてみりゃ、ボリューム何たら、という表示を前回のペーパーでは入れ忘れたような気がするこのごろ。皆様、いかがお過ごしでしょうか。俺は元気じゃありません。

高嶋PONZZの近況

これが出ている頃には、俺は新しいパソコンを手に入れ、浮かれまくっていることだろう。うほほーい。うれちいーっ！ ペンの266MHz。しびれるう。モデムはFAXモデム。かっくいーっ！ 快適なパソコンライフを送れるぞい。

インターネットのアドレスできたら公開するからメールください。
『声』の第三話は、現在初校が上がったところ。さてはて、そのわりにもうイラストはあがってしまった。はううー。
それでは、またまたまたまたまたまた。

追伸

今日、アメリカ女子プリンターの第一人者であるジョイナーが死去。心臓発作とのこと。ドラッグによる副作用かなんなのかはわからないけど、早すぎる死でした。ご冥福をお祈りいたします(黒澤監督やhydeを始め、今年はかなりの影響力を持つ人物が死去していった。今年は、これ以上死去する人が増えないことを祈りたい。でも、そろそろ赤塚不二夫も死にそうな気がする)。

PONZZのエッセイ

変なペンネームの変更について

以前は、PONZUというスベルだったが、いつからか色々複雑な事情があって、PONZZになった。読み方は同じボンス。相変わらず変なペンネームだね。

そこで、今回はこのペンネームの由来を少々書くことにしよう。

昔、俺は「ま」とか、北方万造、月読兵衛とかいうペンネームを使っていた。内緒だが、本名でTRPGの業界に身を置いたこともある(もう五年以上も前のことだ)

そのとき、俺の友人といっしょにとある場所で働いていたのだが、その友人が、「ただおちゃん(俺のあだ名)にあったペンネームってなかなかないよね」などと抜かして、何があつたかひらめきで「高嶋ボンスっていいよね」と言い出し、そいつは十分近くも大笑いした。ま、俺も笑ったんだけどさ。

ともかくも、それが縁で(ろくでもない縁だ)このペンネームに落ち着いた。以来、実に五年もの間、高嶋PONZUで小説を書きつけてきた。

だけど、そろそろペンネームを変えなきゃならないということになって、高嶋PONZZというペンネームに変わった。読み方は変わらず、綴りだけが変わるというのは芸能人もよくあることっちゃうことで、今後ともよろびく。

俺が小説を書く上で注意すること

小説馬鹿な俺は、こうしたことしか書くことができない。まあ、ほかにも色々あるのはあるが、手取り早くすむのがこういう内容なので申し訳ない。さて、俺はどうすれば読者に自分が頭の中で描いている映像を簡潔かつ味わい深い文章で、いかに読者の脳へ伝えることができるかを考えている。まあ、プロになろうとしながらもそれがかなわず、同人誌でのたうっている人間(同人誌を非難しているわけではない。同人誌には、同人誌でしかできないことがあるのは確かだし、俺はそう言う意味で、同人誌が商業誌の人材畑になるということに、強く反感を持っている。これについては、次のお題で)がこんなことを言っても仕方がないのだが、.....

これがまた難しく、今まででもとうまくいったためしがない。いまさらながらに、やるべきではなかったと後悔してしまった。もうちょっと素直なところに自分の小説の注意点を置くべきだった。それでも、最近は徐々にそれとうまくいきつつあり、状況は多少明るい方向に展開していている。

ただ、この企みが果たしてそれがうまくいっているかどうかは、今まで出ている俺の同人誌を買って読んでいる読者が判断することだろう。

うまくいってほしいなあ。

同人誌の人材畑

昔は、商業誌の編集者が、腕のある同人誌作家を引っこ抜いては、簡単にプロデビューさせてしまうということがよくあったというが、現在はどうかだろうか。俺は、プロを目指している人間以外の同人誌作家を、カネに物を言わせて引っこ抜くのはやるべきではないと考えている。

なぜなら、そうした人間は、その才能が同人誌でこそ生きてくるものであって、商業誌という型にはまっては充分に才能を発揮できないと思うからだ。

いくら同人誌で面白い漫画や小説、きれいなイラストを書いたとしても、プロになってもその才能がいかに発揮されるかといえばそうではない。プロになれば、売れるための方程式に自分を当てはめ、その道筋通りにものを仕上げていかなければならない。それは、今まで自由奔放にクリエイティブしてきた彼らにとってははっきりとした足かせでしかなく、彼らの才能を発揮させるための道具となることはない。アマチュアからプロにデビューして壊れていった人間は数知れない(というわけだけど、どうなんだろうか)。

じつはこれ、音楽界の同人誌 つまりは、インディーズレーベルという世界でもおこなわれていて、今までいくつものインディーズバンドがプロに引っこ抜かれ、才能を食い散らかされて捨てられている(すきくないけど、ジュンスカイウォーカーズ、たま、その他諸々、数え上げるだけ面倒。覚えきれない)

才能は、生かされる場所がつかわれてこそその才能だと思うのだが、どうだろうか。

最後に

偉鷹 そうなことを書いてしまった。申し訳ない。本人はこんなに偉いわけではなく、プロになろうと泥をすすっているおろかな人間だ。こんな人間が同人誌界にいたら、同人誌のためによくないのかもしれないなあ、と思う今日この頃の俺でした。

まあ、いつも通り、文句は売り子に言ってくださいなれば、そのまま俺のほうに流れてきますんで、次回には謝罪の文章が入ると思いましゅ。したっけ。

SEE YOU LATER!

偉鷹のたわごと

ちわー、偉鷹 仁です。なかなか新作が描けなくて、そろそろ見捨てられるんじや...などと怯えている次第なんですけど、何をしていたのかとゆーと、「神聖史パラダ・ハーン」と名付けたTRPG(テーブルトーク・ロール・プレイング・ゲーム。知らない人はコミケ会場で私らが、他のゲームサークルの人に聞いてみよう!)のルールを作ってたんです。左ページのイラストが、そのイメージ(あんまり伝わんないけど)です。「ソードワールドRPG」という富士見書房サンからでているゲームに追加するルールで、元はファンタジー世界なんですけど、なんとその中で宇宙船を使って冒険してもらっ、「天駆けるファンタジー」をやっしまおうというものです。

偉鷹は豊田でTRPGコンベンション(ゲームをやりたいひとが集まって、みんなでそれぞれやりたいゲームをやるイベント)に、このルールでこないだゲームをしました。まだまだ修正が必要ですが、まあなんとかカタチにはなったようです。さすがにまだ未完成のルールなので本にもできず、新刊が出ないー、という状況になってしまっています(トホホー)。とりあえずホームページ上には載せているので、興味のある人はみてみてね(インターネットを契約してないという人はインターネットカフェなる、インターネットがのぞける喫茶店というものがあるのでこれを利用するの手もかも)。

そんな近況

でしたが、さすがにこのままじゃいかんで次回作をどうしようかと苦悩しています。

いちおー予定としては、高嶋PONZZ氏との合作イラストストーリー「(仮)魔淫の刻」、「降魔聖伝」、「棲鬼鏡」総集編、「幻燈古酒」などがあるんですけど「幻燈~」は公園丸くんも一緒に本ののせる予定で進めてたんだけど彼が仕事の関係でダウンしてるもんで、まだ完成しないし、「降魔~」は10ページ以上描き溜めてあるんだけど、話が長いもんですぐにはできないし、「魔淫~」は高嶋氏の手が空かないとできないし、ということは「棲~」かなー。

最近いいなー

と思ったのは「lain」と「ガサラキ」ですかねー、ここ数日の間にまあ、入るわ入るわ新番組。しかもけっこうでのいいのが、「lain」のようなサイコ・ホラー系は私、大好きなんですよー。あのオープニングに出てのカラスと帽子とモニターがキーワードですかねー。東京の方ではもう大分話が進んでると聞きますが、ちょっとうらやましいかも。イントロの「いきなり自殺」ってシチュエーションは私もホラーゲームのシナリオに使おうと狙ってたんですよー。でも、現実には年少者の自殺が多いんが、たまりませんね。いままさら社会に文句言ってもはじまらないんで、私達は自分のできることで何とかしていくしかないんですよ。メディアも騒ぐだけ騒いで、解決策も提示しないで勝手にやめちゃうんで問題ありだと思っな。これ読んでるあなたも身の回りの誰かを気遣ってあげてくださいね。コミュニケーション取るだけでも違うと思うんですよ(あまり人のことを言えた義理ではないんだが)。

「パーフェクトブルー」も見たいなー、流行なんですかね、ハリウッド映画もヒッチコックのリメイクを作ったり...。「ガサラキ」はあのミリタリーとジャパネスクの混じり具合がよいよい、監督が高橋良輔氏なのでオチが「ボトムズ」「ガリアン」「レイズナー」のような「なかったことになる」のだけは避けてほしいなーと思ってます。あ、オチがない...

ではでは、コミケ当日の朝4時にキーボード打ってる偉鷹仁でした。



イベント参加予定

コミケ

10/11 コミックライブ(名古屋国際展示場)

11/15 コミックシティ(名古屋国際展示場)

12/6 コミティア(刈谷産業振興センター)

コンベンション(本は売ってないよ(笑))

11/1 無限大陸TRPGコンベンション(豊田産業文化センター)

ホームページ: <http://www.japan-net.ne.jp/~itaqua>

メールアドレス: itaqua@japan-net.ne.jp

連絡先: 愛知県安城市横山町下毛賀知 51-11 中根方 公園丸